

# 平成31(令和元 2019)年度 事業報告書

平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日

学校法人 冬木学園

## 目次

	p.
1. 法人の概要	2～5
(1) 建学の精神	2
(2) 学校法人の沿革	2
(3) 設置する学校・学部・学科等（令和元(2019)年5月1日現在）	3
(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況（令和元(2019)年5月1日現在）	3
(5) 役員の概要（令和2(2020)年5月26日現在）	4
(6) 評議員の概要（令和2(2020)年5月26日現在）	4
(7) 教職員の概要（令和元(2019)年5月1日現在）	5
2. 事業の概要	5～10
(1) 事業の概要	5
(2) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況	6～7
【畿央大学】	
① 学生募集の推移	8
② 学位授与者数の推移	8
③ 国家試験合格率の推移	9
④ 教員採用試験合否結果の推移	9
⑤ 就職率の推移	9
【関西中央高等学校】	
① 学生募集の推移	9
② 進路状況	9
(3) 施設等の状況（令和2(2020)年3月31日現在）	10
① 現有施設設備の所在地等の説明	10
② 主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況	10
(4) その他	10
3. 財務の概要	11～17
(1) 決算の概要	11～12
① 貸借対照表の状況	11
② 収支計算書の状況	11～12
(2) 経年比較	12～14
① 貸借対照表	12
② 収支計算書	13～14
ア) 資金収支計算書	13
イ) 活動区分資金収支計算書	13
ウ) 事業活動収支計算書	14
(3) 主な財務比率比較	15
(4) その他	15～17
① 有価証券の状況	15
② 借入金の状況	15
③ 学校債の状況	16
④ 寄付金の状況	16
⑤ 補助金の状況	16
⑥ 収益事業の状況	16
⑦ 関連当事者等との取引の状況	16～17
⑧ 学校法人間取引	17

## 1. 法人の概要

### (1) 建学の精神

学校法人冬木学園は、建学の精神として「徳をのぼす」「知をみがく」「美をつくる」の3つの理念を掲げているが、これは、豊かな人間性を追究することこそが教育の最終目標であるとする考え方に立ち、創立以来一貫して精神的支柱とし、すべての教育活動の中で具現化すべく取り組んできたものである。

#### 「徳をのぼす」

住みよい社会をつくるためには、先ず個々に敬愛の念をもち、お互いの幸せを願い、恵みを与えあう心を養わなければならない。すなわち小さい徳を積み、社会を潤していく精神を養う。

#### 「知をみがく」

人間の進歩向上とは、自己の才能を最大限に練磨することである。知識欲を失えばただ退歩あるのみである。私達はあくことなく頭脳を磨き、励まし合い、研究的な態度を養う。

#### 「美をつくる」

すべての優れた技術はこの世の中にすばらしい美の贈り物を作ることができる。美しいものは見る者の心を澄まし、喜びとやすらぎを与えてくれる。私達の手で、ひとつでも多く、日々新しいものを創造していく。

### (2) 学校法人の沿革

昭和21(1946)年5月	奈良県認可冬木文化服装学院創設
昭和36(1961)年4月	冬木文化服装学院を冬木家政女学院へ校名変更
昭和39(1964)年1月	学校法人冬木学園設立認可
昭和39(1964)年4月	桜井女子高等学校(現:関西中央高等学校)(普通科、家庭科)開校
昭和41(1966)年4月	桜井女子短期大学(家政科)開学
昭和42(1967)年4月	桜井女子短期大学に児童教育科を設置
昭和44(1969)年4月	桜井女子高等学校に音楽科を設置
昭和54(1979)年4月	桜井女子短期大学(現:畿央大学)付属幼稚園開園
昭和57(1982)年4月	桜井女子短期大学家政科を生活科学科に、児童教育科を児童教育学科に改称
昭和57(1982)年4月	桜井女子高等学校家庭科を廃止、国際英語科を設置
平成5(1993)年4月	桜井女子短期大学専攻科(生活科学専攻)を設置
平成11(1999)年4月	桜井女子高等学校を男女共学とし関西中央高等学校へ校名変更
平成15(2003)年4月	畿央大学(健康科学部)開学 桜井女子短期大学を男女共学とし畿央大学短期大学部へ校名変更
平成18(2006)年4月	畿央大学教育学部現代教育学科設置
平成18(2006)年5月	冬木学園創立60周年、冬木記念ホール竣工、記念行事開催
平成19(2007)年3月	畿央大学短期大学部廃止、関西中央高等学校音楽科廃止、冬木家政女学院廃止
平成19(2007)年4月	畿央大学健康科学部健康生活学科健康栄養専攻を健康栄養学科に、健康生活学科人間環境デザイン専攻を人間環境デザイン学科に改組 畿央大学大学院健康科学研究科(修士課程)開設 畿央大学健康科学研究所開設
平成20(2008)年4月	畿央大学健康科学部看護医療学科設置
平成21(2009)年4月	畿央大学大学院健康科学研究科(博士後期課程)設置
平成22(2010)年3月	関西中央高等学校国際英語科廃止
平成24(2012)年4月	畿央大学助産学専攻科開設 畿央大学現代教育研究所開設
平成25(2013)年4月	畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター開設
平成26(2014)年4月	畿央大学大学院教育学研究科(修士課程)設置
平成28(2016)年5月	冬木学園創立70周年、記念式典開催
平成31(2019)年1月	事業会社(OpenCEAS株式会社)に出資
平成31(2019)年4月	畿央大学臨床細胞学別科開設
平成31(2019)年4月	畿央大学看護実践研究センター開設

## (3) 設置する学校・学部・学科等（令和元(2019)年5月1日現在）

設置する学校	開設年	学部等	学科等	専攻等
畿央大学	平成15年	健康科学部	理学療法学科	
	平成19年		健康栄養学科	
	平成20年		人間環境デザイン学科	
	平成18年	教育学部	現代教育学科	
	平成19年	大学院 健康科学研究科	修士課程	健康科学専攻
	平成21年		博士後期課程	健康科学専攻
	平成26年	大学院 教育学研究科	修士課程	教育実践学専攻
	平成24年	助産学専攻科		
	平成31年	臨床細胞学別科		
関西中央高等学校	昭和39年	普通科(全日制)		
畿央大学付属幼稚園	昭和54年			

## (4) 学校・学部・学科等の学生数の状況（令和元(2019)年5月1日現在）

## 畿央大学・畿央大学大学院

(単位：人)

学部・学科等	収容定員	在籍者数				
		1年	2年	3年	4年	合計
大学院	健康科学研究科					
	博士後期課程	15	5	9	9	23
	修士課程	40	23	18	—	41
	教育学研究科					
	修士課程	20	2	4	—	6
大学院合計	75	30	31	9	70	
大学	健康科学部					
	理学療法学科	286	73	76	73	310
	看護医療学科	364	97	89	100	386
	健康栄養学科	360	96	96	92	385
	人間環境デザイン学科	210	68	66	66	272
	教育学部					
	現代教育学科	780	203	221	218	852
	大学学部合計	2,000	537	548	549	2,205
	助産学専攻科	10	10	—	—	10
臨床細胞学別科	20	3	—	—	3	
総合計	2,105	580	579	558	2,288	

## 関西中央高等学校

(単位：人)

普通科	コース	収容定員	在籍者数			
			1年	2年	3年	合計
普通科	進学	1,185	62	76	85	223
	特別進学		11	16	33	60
総合計		1,185	73	92	118	283

## 畿央大学付属幼稚園

(単位：人)

	収容定員	在籍者数			
		3歳児	4歳児	5歳児	合計
総合計	200	10	16	15	41

## (5) 役員概要 (令和2(2020)年5月26日現在)

定員数 理事 5~8 名 監事 2~3 名

区分	氏名	常勤区分	適用
理事長	冬木 正彦	常勤	昭和43(1968)年8月 理事就任 平成26(2014)年10月 理事長就任
理事	植田 政嗣	常勤	平成28(2016)年10月 理事就任
理事	前平 泰志	常勤	平成30(2018)年4月 理事就任
理事	冬木 啓子	常勤	平成30(2018)年3月 理事就任
理事	西川 隆彰	常勤	平成22(2010)年5月 理事就任
理事	水上 亨男	常勤	平成28(2016)年4月 理事就任
理事	堀井 良殷	非常勤	平成5(1993)年9月 理事就任 関西・大阪21世紀協会 理事長
理事	鳥山 絹代	非常勤	昭和61(1986)年4月 理事就任 天理総合運輸株式会社 常務取締役
監事	石川 喜英	非常勤	平成22(2010)年8月 監事就任 石川耳鼻咽喉科医院 院長
監事	柴 健次	非常勤	平成28(2016)年9月 監事就任 関西大学大学院会計研究科 教授

## 前会計年度の決算承認に係る理事会開催日後の退任役員

区分	氏名	常勤区分	適用
	該当なし		

## (6) 評議員概要 (令和2(2020)年5月26日現在)

定員数 12 ~ 18 名

氏名	在任年月	主な現職等
植田 政嗣	4年2ヶ月	学校法人冬木学園 理事、畿央大学健康科学部長、大学院健康科学研究科長
前平 泰志	4年2ヶ月	学校法人冬木学園 理事、畿央大学教育学部長、大学院教育学研究科長
三井田康記	10年1ヶ月	畿央大学健康科学部人間環境デザイン学科長
庄本 康治	2年2ヶ月	畿央大学健康科学部理学療法学科長
西川 隆彰	10年	学校法人冬木学園 理事、関西中央高等学校長
宮本 忠史	4年2ヶ月	畿央大学附属幼稚園長
水上 亨男	11年	学校法人冬木学園 理事、畿央大学事務局長、入学部長
植村 豊	4年2ヶ月	学校法人冬木学園法人事務局長、法人総務部長、畿央大学総務部長
鳥山 絹代	47年10ヶ月	学校法人冬木学園 理事、天理総合運輸株式会社 常務取締役
萩元満知子	34年1ヶ月	関西中央高等学校 蘭友会(同窓会)長
唄 大輔	7年9ヶ月	畿央大学 畿桜会(同窓会)長、医療法人平成記念病院 リハビリテーション科
谷口 舞衣	2年11ヶ月	畿央大学 畿桜会(同窓会)役員、京都大学医学部附属病院 看護師
福原亜以子	2年2ヶ月	畿央大学 後援会役員
清水 久美	2ヶ月	畿央大学 後援会役員
駒井 卓子	2ヶ月	関西中央高等学校 育友会役員、育友会長候補者
冬木 正彦	7年3ヶ月	学校法人冬木学園理事長、畿央大学学長
堀井 良殷	22年10ヶ月	学校法人冬木学園理事、関西・大阪21世紀協会理事長

(7) 教職員の概要（令和元(2019)年5月1日現在）

畿央大学 教員数

(単位：人)

区分	専任教員						兼任教員
	教授	准教授	講師	助教	助手	計	
健康科学部	28	26	12	6	16	88	93
教育学部	14	15	3	0	0	32	41
合計	42	41	15	6	16	120	134

※学長は教育学部教授に含む

関西中央高等学校 教員数

(単位：人)

区分	専任教員					兼任教員
	校長	教頭	教諭	講師	計	
合計	1	1	17	16	35	8

畿央大学付属幼稚園 教員数

(単位：人)

区分	専任教員				兼任教員
	園長	教諭	講師	計	
合計	1	3	2	6	6

職員数

(単位：人)

区分	専任職員					兼任職員
	事務系	教務系	厚生補導系	技術技能系	計	
法人	5	0	0	0	5	0
畿央大学	35	0	14	2	51	0
関西中央高等学校	6	4	0	0	10	0
畿央大学付属幼稚園	1	0	0	0	1	0
合計	47	4	14	2	67	0

2. 事業の概要

(1) 事業の概要

平成24(2012)年度に策定された「学校法人冬木学園 長期計画」において、以下の通り10年後にめざす冬木学園と設置する各校の目標を掲げている。

- 1 冬木学園は、建学の精神「徳をのぼす、知をみがく、美をつくる」を体得した有為な人材を育成するとともに日本社会に貢献し、安定的に発展し続ける学校法人となる。
- 2 畿央大学は、健康科学、教育学分野において高い教育・研究の質を持ち、豊かな教養と知性を備えた高度な専門職業人の育成を行うとともに、現代社会に貢献するキラリと光る存在感のある大学となる。
- 3 関西中央高等学校は、生徒一人ひとりがしっかりと学ぶ力・生きる力をみがき、個々の目標を実現するために、徹底した教育体制のある高校となる。
- 4 畿央大学付属幼稚園は、大学付属の良さを活かした高い保育の質を持ち、かつ地域社会と一体となって、園児たちの個性と可能性を育む幼稚園となる。

この長期目標を達成するための後半5年間の「学校法人冬木学園 中期計画」を、平成29(2017)年度に策定した。その実現に向けて、平成31(令和元、2019)年度に実施した主な事業について報告する。

## (2) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

### ●法人 事務局の企画・調査機能の強化と全学的関与の推進

平成31(2019)年4月20日に、学園の精神的支柱であった冬木智子名誉学園長の「お別れの会」を全学園協力のもと執り行った。また、学園事業計画等の意思決定機関及びその会議体に法人総務部管理職を陪席させ、様々な案件への事務局の関与を厚くした。高校事務室へは法人総務部担当者を異動させ、法人事務局職員兼務の事務長と共に、管理・運営機能の強化を図った。

### ●法人 持続的発展のための財務基盤の確立

学園収益事業(コンテンツ配信)について早期に収益性に関する検証を行い、当面厳しい状況になると判断し、収益事業の取り止めの対応を行った。また、引続き予算制度の高度化のための対応について、特に大学事務局へのアプローチを強化し、補正予算編成と次年度当初予算編成を実施した。

### ●法人 効果的な人材の確保、人材育成の施策の構築

大学事務局の事務分掌の再構築と、事務室スペースの改変及び人事異動を行い、次世代教育活動へのサポート体制の確立に向けた対応を開始した。併せて事務職員に対する報酬の改善を行った。教員の採用に関し、校種、分野によって募集にばらつきはあるが、様々な新たな手法を駆使し、対応した。人材育成のための施策や、評価制度の改善に関しては、継続課題と認識している。

### ○畿央大学 持続的発展に向けた施策

魅力ある学部・学科の創造をめざし、教育学部現代教育学科において学科を再編し、「英語教育コース」を2020年4月に増設した。中期的には2022年4月のさらなる改組を目標に「教育学部再編プロジェクト」を立ち上げた。また、健康科学部においては新学科構想を含む学部改編の検討を開始した。

### ○畿央大学 「高い質の学士力」を保証するための施策

課題となっている学修成果の客観的・定量的な可視化と、それに基づく教育改善サイクルを構築するために、まず各学科においてディプロマポリシーに基づく学修成果の可視化を検討し、それぞれの特色をふまえた分析を行った。一方で事務局においてアセスメントプロジェクトを立ち上げ、画一的なアセスメントテストの検討とともに、学科毎に整理された内容に基づき、本学独自の視点によるツールの開発をめざす作業に着手した。

### ○畿央大学 「特色ある教育活動」の充実、定着を図るための施策

日本語長文の読解と論理的な文章作成のための教育システム構築について、対策チームによる議論を継続し、令和2(2020)年度にリーディングスキルテスト(RST)を全学部生対象に実施することを決定した。一方、英語による基本的コミュニケーション能力を育成するための教育システムの検討については、短期語学留学、海外インターンシップ実施のタイミングでコミュニケーション能力アップを目的とした『英語カフェ(仮称)』の設置等を検討し、次年度にワーキンググループを立ち上げることを決定した。

### ○畿央大学 グローバル化への対応

理学療法学科、看護医療学科に続いて、人間環境デザイン学科で台湾の高雄大学の学生との交流をすすめ、「海外インターンシップ」を初めて正課授業として開講した。今後は1年おきに奈良県と台湾での開講をめざしている。また、各学科において目標とするグローバル人材の検討を行い、目指すべきグローバル教育について学科毎に明確化する作業を行った。

### ○畿央大学 臨床細胞学別科の設置

臨床細胞学に関する高度な学識・技術を身につけ、地域社会および国際社会の発展に創造的に貢献できる有為な人材を育成することを目標に、臨床細胞学別科を2019年4月に設置した(定員20名)。細胞検査士資格取得を完全バックアップする全日制コースは平日に授業を行うが、土曜日や休日には臨床現場の医師やコメディカルを教育対象として資格取得の支援やリカレント教育を目的とするコースを設置した。臨床細胞学別科の入学者は初年度3名にとどまったが、全員が試験に合格して細胞検査士資格を取得した。

### ○畿央大学 「一人ひとりを見据えた学生支援体制」の充実について

学生への教育に有用な施設改善について課題を整理し、学内の女子トイレのパウダールーム化をすすめた。また、L棟3階の改修を行い、講義室の音響改善を実施した。さらにE棟ラウンジを含む空きスペースの有効活用を検討し、ラーニングコモンズ化をめざして試験運用を行い、次年度大幅に回収を行うことを決定した。

### ○畿央大学 研究活動への取組

教員の研究活動支援を継続してをすすめ、外部資金や競争的資金の積極的獲得を図るための支援を行った。結果として科研費の令和元(2019)年度の新規採択件数は17件で、採択率では全体の平均28.4%を大きく上回る41.5%となった。継続中の課題と併せた採択件数は50件で、近畿地区の私立大学全体では17位となっている。一方、付置機関、組織の活動としては、「臨床細胞学別科」と「看護実践研究センター」が平成31(2019)年4月にスタートした。「看護実践研究センター」では平成31(2019)年5月19日に開設記念シンポジウムが開催され、約100名の参加者があった。

### ○畿央大学 「社会貢献活動」の取組

学園祭とコラボレーションした「ウエルカムキャンパス in 畿央祭2019」や18回目をむかえた公開講座、30回を数える「クリーン&歴史ウォーク」への協力など、地元地域を中心とする多くの社会貢献活動に今年も取り組んだ。また、過去10回は小学生向けのイベントとして実施してきた「ひらめき☆ときめきサイエンス」を初めて高校生向けの内容で実施し、11名の参加者を得た。学生への教育的効果をより重視した「教育型地域連携」活動についても従来通り積極的に推進した。

### ■関西中央高等学校 全生徒の学力向上を図る教育・学習活動の充実

特進コースは、全学年の授業前に「自習の時間」および英語・国語の「小テストの時間」が定着し、放課後の学習指導として、1学年には基礎学力の定着を図る学習指導の「関中塾」と自学自習をサポートする「勉強倶楽部」による基本学習体制の充実・整備を推進した。2・3学年には、受験対応の「関中塾」と「勉強倶楽部」において個々人に必要な学力向上を図る放課後の学習指導とともに目標大学に向け生徒個々への個別・小グループ別学習指導を行った。進学コースにおいては、全学年に授業前の「小テストの時間」および放課後の「SSP(学習支援プログラム)」における学習指導が定着し、目標大学進学に向け「勉強倶楽部」への参加や個別・小グループ別学習指導の取り組みも行われた。

### ■関西中央高等学校 難関大学進学をめざす3か年を通じた学力向上教育体制の整備

難関大学進学状況においては、本校の学力向上教育体制の整備に伴い、一定の成果が見られた。防衛大学校など国公立で3名が合格し、早稲田大学、同志社大学などの難関大学合格者もでた。特筆すべきは本校で初めて早稲田大学に現役合格者がでたことである。今後はこの流れをいかに強化・継続していくかが求められる。

### ■関西中央高等学校 「生きる力をみがく」生徒指導教育体制整備の推進

「挨拶運動」「校門一礼」「チャイム着席」等の社会規範意識の向上・定着については来校者の評判も良く、「指導票」や「特別指導」も減少し各種活動の定着が見られる。建学の精神に基づく「思いやりの心」の育成を図る「思いやりの心マナーアップ運動」も年間活動実施要綱に基づき諸活動が実施され、活動の定着が見られる。「コミュニケーション力」「考える力」等を育成する「アクティブ・ラーニング実践教育(VIB)」は全学年全クラスが同時に実施し、全生徒とともにほぼ全教員参画の意義が確認された。

### ■関西中央高等学校 大幅な入学生徒数増を図る企画広報活動の成果と課題

入学者数は一昨年度の102名から昨年度は73名と減少した。平成30年度の奨学金給付額が予想以上に増大したので、それ以降は奨学金給付総額を抑制しつつ、学校訪問、広報物等募集広報活動等の積極的展開を図った。しかし、進学コースは昨年度62名から今年度51名に減り、特進コースは11名から15名と微増したが合計で7名減の66名となった。一方、県内の競合私立高校においても入学生徒数は減少している。本校入学の魅力を大きく高める方策の確立が強く求められる。

### □畿央大学付属幼稚園 英語教育の取り組みの見直しについて

現在、年中児・年長児に対して毎週金曜日に英語の授業を取り入れている。また、年少児においても2学期の運動会終了後から授業を取り入れている。年中児、年長児については英語の指導日のみならず日頃の保育の合間に、英語の教材をDVDによる映像を見せることにより日常の保育の中から英語の音に触れる環境作りをしている。そして、この取り組みについて、令和元(2019)年度奈良県私立学校教育経常費補助金学校提案型支援加算に採択された。

### □畿央大学付属幼稚園 食育の取り組みの充実について

本園の特色の一つである食育において、給食の残食の記録と残食を減らすための献立の見直しに取り組んだ。また、年間を通して給食で食べる米作りの体験や野菜作りの体験を通して、収穫したものを昼食に食べることによる新鮮な野菜のおいしさの体験を通して残食を減らすことに取り組んだ。また、畿央大学健康栄養学科の教員と共同研究し、献立の見直しや残食の献立の分析を行い園児の嫌いな食材の代表的なものを抽出することができた。これにより、献立の材料から見直した献立の改善に取り組めた。この取り組みについて、令和元(2019)年度奈良県私立学校教育経常費補助金学校提案型支援加算に採択された。



【畿央大学】

① 学生募集の推移

(単位：人)

学部・学科等		平成30年度(29年度実施)		平成31年度(30年度実施)		令和2年度(令和元年度実施)	
		志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
大学院	健康科学研究科	21	19	28	28	39	38
	博士後期課程	9	9	5	5	4	3
	修士課程	12	10	23	23	35	35
	教育学研究科	4	4	5	2	2	2
	修士課程	4	4	5	2	2	2
	大学院合計	25	23	33	30	41	40
大学	健康科学部	8,920	333	9,774	334	8,623	349
	理学療法学科	1,840	76	2,191	73	1,939	76
	看護医療学科	2,652	90	2,932	97	2,826	99
	健康栄養学科	2,941	99	2,966	96	2,275	101
	人間環境デザイン学科	1,487	68	1,685	68	1,583	73
	教育学部	4,544	222	3,935	203	4,373	197
	現代教育学科	4,544	222	3,935	203	4,373	197
	学部合計	13,464	555	13,709	537	12,996	546
	助産学専攻科	13	8	15	10	21	10
	臨床細胞学別科	—	—	3	3	5	5
総合計	13,502	586	13,760	580	13,063	601	

② 学位授与者数の推移

(単位：人)

学部・学科等		学位	学位授与者数				
			平成29年度	平成30年度	令和元年度		年度合計
					前期末	後期末	
大学院	健康科学研究科						
	博士後期課程	博士 (健康科学)	4	4	1	3	4
	修士課程	修士 (健康科学)	19	17	1	13	14
	教育学研究科						
	修士課程	修士 (教育学)	1	6		1	1
大学	健康科学部						
	理学療法学科	学士 (理学療法)	72	64		76	76
	看護医療学科	学士 (看護学)	93	91		88	88
	健康栄養学科	学士 (健康栄養)	93	98		98	98
	人間環境デザイン学科	学士 (人間環境 デザイン)	51	64		67	67
	教育学部						
	現代教育学科	学士 (教育学)	206	217	2	198	200
	学士課程 合計		515	534	2	527	529

③ 国家試験合格率の推移（新卒者のみ）

	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	本学(%) 合格者数(人)	全国平均 (%)	本学(%) 合格者数(人)	全国平均 (%)	本学(%) 合格者数(人)	全国平均 (%)
理学療法士	100.0% 72	87.7%	100.0% 64	92.8%	100.0% 76	93.2%
看護師	100.0% 93	96.3%	100.0% 91	94.7%	98.9% 87	94.7%
保健師	100.0% 19	85.6%	100.0% 20	88.1%	92.3% 12	96.3%
助産師	100.0% 9	99.4%	100.0% 8	99.9%	100.0% 10	99.5%
管理栄養士	98.9% 88	95.8%	100.0% 85	95.5%	100.0% 90	92.4%

④ 教員採用試験合否結果の推移（新卒者のみ）

	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	受験者数(人)	合格者数(人) 合格率(%)	受験者数(人)	合格者数(人) 合格率(%)	受験者数(人)	合格者数(人) 合格率(%)
小学校教諭	71	44 62.0%	76	49 64.5%	82	62 75.6%
養護教諭	21	5 23.8%	18	3 16.7%	13	6 46.2%
公立幼稚園・保育園	39	34 87.2%	32	31 96.9%	27	27 100.0%

⑤ 就職率の推移

(単位：人)

学部生(健康科学、教育) 合計	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
卒業者数 (A)	420	434	509	534	527
進学者数 (B)	10	11	7	14	10
卒業者－進学者 (C)	410	423	502	520	517
就職希望者数 (D)	396	408	488	512	502
就職決定者数 (E)	390	403	482	507	500
就職決定率 (E/D)	98.5%	98.8%	98.8%	99.0%	99.6%
就職率 (E/C)	95.1%	95.3%	96.0%	97.5%	96.7%

【関西中央高等学校】

① 学生募集の推移

(単位：人)

	平成30年度(29年度実施)		平成31年度(30年度実施)		令和2年度(令和元年度実施)	
	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
総数	828	102	712	73	641	66

② 進路状況

(単位：人)

卒業者 総数	平成29年度卒業者数		平成30年度卒業者数		令和元年度卒業者数	
	80		78		115	
進学者／就職者 総数	進学者数	就職者数	進学者数	就職者数	進学者数	就職者数
	74	4	68	8	106	6

(3) 施設等の状況（令和2(2020)年3月31日現在）

① 現有施設設備の所在地等の説明

土地

所在地	面積(㎡)	取得価額	摘要
奈良県北葛城郡広陵町馬見中4丁目2番2 他	50,904.06	4,154,816千円	畿央大学校地
桜井市大字桜井502番 他	53,946.88	677,792千円	関西中央高等学校校地
桜井市朝倉台西5丁目1093番321 他	1,882.80	63,000千円	畿央大学付属幼稚園校地

主な校舎等

(価額の単位：千円)

所在地	施設等	面積(㎡)	取得価額	帳簿価額
北葛城郡広陵町馬見中4丁目2番2	畿央大学 C棟	8,005.88	1,546,378	778,082
	畿央大学 L棟	3,341.49	556,241	344,086
	畿央大学 D棟	987.17	305,928	142,624
	畿央大学 E棟	5,974.60	1,841,112	1,067,933
	畿央大学 K棟	2,996.62	864,671	546,729
	畿央大学 P棟	3,234.10	794,643	671,470
	畿央大学 G棟 (体育館)	1,270.30	271,787	163,935
	畿央大学 R棟 (食堂棟)	3,223.31	950,949	659,756
北葛城郡広陵町馬見中1丁目6番1	畿央大学 クラブハウス棟	408.24	68,622	40,144
	畿央大学 クラブボックス	197.51	17,248	13,185
桜井市大字桜井502番,1120番2	関西中央高等学校 本館	2,288.31	472,530	389,693
桜井市大字桜井501番7	関西中央高等学校 新館	2,258.55	711,724	362,324
桜井市大字桜井502番	関西中央高等学校 2号館	900.60	182,863	68,489
	関西中央高等学校 3号館	887.89	176,079	82,253
	関西中央高等学校 5号館	1,036.50	135,521	7,895
	関西中央高等学校 知正館	375.54	64,166	17,085
	関西中央高等学校 体育館	1,413.50	218,887	74,497
	関西中央高等学校 蘭友会(同窓会)館	303.23	127,497	127,497
桜井市大字桜井1119番3	関西中央高等学校 カトレア寮	584.34	71,371	23,591
桜井市朝倉台西5丁目1093番321	畿央大学付属幼稚園 園舎	733.46	106,276	32,139
	畿央大学付属幼稚園 記念館	194.17	65,938	30,250

② 主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況

平成31(2019)年4月に、関西中央高等学校同窓会館(延床面積303.23㎡ 取得価額 127,497千円)を建設、竣工した。

(4) その他

特に記載すべき事項はない。

### 3. 財務の概要

#### (1) 決算の概要

##### ① 貸借対照表の状況

「有形固定資産」に関しては、高校同窓会館の建設竣工に伴い、「建設仮勘定」(58百万円)を振替え、当年度支払額を合わせ「建物」計上(127百万円)した。また、一定規模の施設改修として、大学講義室(5室)の改修、女子トイレ(1ヶ所)のパウダールーム化による「建物」増額(81百万円)を計上した。大学の全学生へのパソコン貸与事業(7年目になり資産計上、償却、除却サイクルも安定している)におけるノートパソコン(60百万円)、冬木記念ホールのビデオプロジェクトの入替(15百万円)及び科学研究費補助金での調達機器の現物寄付(10百万円)等による「教育研究用機器備品」増加があった。減価償却及び買換等による廃棄機器の除却による減少をトータルした「有形固定資産」総額は、11,505百万円(前年度末から174百万円の減少)となった。「特定資産」に関しては、「第3号基本金引当特定資産」の増加により2,123百万円(前年度末から11百万円の増加)となった。

それらのことにより「固定資産」総額は、13,635百万円(前年度末から163百万円の減少)となった。

「流動資産」に関しては、「現金預金」は9,865百万円(前年度末から633百万円の増加)、「有価証券」は2件の社債を購入し、854百万円(前年度末から201百万円の増加)となった。「未収入金」は79百万円で、前年度末との変動(44百万円の増加)は、本年度の退職金団体からの交付金の差異等による。本年度末の「流動資産」総額は10,798百万円で、前年度末から879百万円の増加となった。

「資産」(固定資産と流動資産)の部の合計は24,434百万円で、前年度末から715百万円の増加となった。

「負債」に関し、「固定負債」としては、「退職給与引当金」が366百万円(前年度末から4百万円の増加)となった一方、リースでの機器調達による「長期未払金」が9百万円減少したことから、386百万円(前年度末から4百万円の減少)となった。「流動負債」について、期末「未払金」は、期末の機器等の調達や改修工事の完了により、前年度末と比較して121百万円の増加(314百万円)となり、他科目と合わせ「流動負債」は1,174百万円(前年度末から132百万円の増加)となった。

「負債」(固定負債と流動負債)の部の合計は1,560百万円で、前年度末から127百万円の増加となった。

「第1号基本金」は、有形固定資産取得額の増加に伴いトータルで18,233百万円(前年度末から158百万円の増加)となった。「第3号基本金」は、特別寄付金の教育振興基金への組入れにより313百万円(前年度末から11百万円の増加)となった。期末の「基本金」総額は18,780百万円で、前年度末から169百万円の増加となった。

翌年度への「繰越収支差額」については4,092百万円の収入超過で、前年度末から超過額は418百万円増加した。「基本金」と「繰越収支差額」の合計である「純資産」合計は22,873百万円となり、前年度末から587百万円増加した。

比率で見ると、「流動比率(流動資産/流動負債)」は、919.45%(前年度末951.94%、平成30(2018)年度医歯系を除く大学法人平均値(以下「全国平均」という。)246.6%)で、非常に高い支払能力を維持している。「負債比率(総負債/純資産)」は、6.82%(前年度末6.43%、全国平均13.9%)、「純資産構成比率(純資産/(負債+純資産))」は93.61%(前年度末93.96%、全国平均87.8%)で、財政の高い安定性が維持されている。それらの結果として、「基本金比率(基本金/基本金要組入額)」も99.40%(前年度末99.62%、全国平均97.3%)と、高い数値となっている。

##### ② 収支計算書の状況

事業活動収支計算書の教育活動収支に関し、「学生生徒等納付金」は、大学入学定員の厳格化、高校の入学者数の減少及び幼稚園の段階的募集停止の影響から、学園全体で3,250百万円(対前年度比99.1%、28百万円の減少)となった。「手数料」に関しては、大学の令和2(2020)年度入学に向けた志願者数が減少したことで14百万円の減少となり、188百万円となった。「経常費等補助金」は372百万円(対前年度比99.0%、3百万円の減少)となった。また、退職者の変動による退職金団体からの交付金の増加等から「雑収入」は96百万円(対前年度比184.0%、43百万円の増加)となり、「教育活動収入計」は3,976百万円(対前年度比100.2%、9百万円の増加)となった。

支出における「人件費」に関しては、勤務年数の長い教職員の退職により退職金が74百万円(対前年271%、46百万円の増加)となり、人件費総額としては、大学は教員数2名増などにより1,556百万円(対前年度比101.5%、22百万円の増加)、高校は教員数2名増などにより325百万円(対前年度比114.8%、42百万円の増加)、幼稚園は教員数1名減であるが教職員が少人数で退職金の影響が大きく67百万円(対前年度比116.1%、9百万円増加)し、学園全体で1,984百万円(対前年度比103.8%、72百万円の増加)となった。資金収支計算での退職金と役員報酬を除く人件費の状況として、学園全体で1,886百万円であり、対前年度比101.9%、35百万円の増加のレベルで推移した。

「教育研究経費」については、1,138百万円(対前年度比101.5%、17百万円の増加)となり、「管理経費」については、303百万円(対前年度比106.6%、18百万円の増加)となった。

それらを合計した「教育活動支出計」は、3,428百万円(対前年度比103.3%、110百万円の増加)となった。

教育活動外収支に関し、収入においては「受取利息・配当金」は、25百万円(対前年比97.1%、0.7百万円の減少)となり、経常的な教育活動外支出は無く、「教育活動外収支差額」は、25百万円(対前年度比97.1%、0.7百万円の減少)の収入超過となった。

「教育活動収支差額」と「教育活動外収支差額」の合算である「経常収支差額」は、573百万円(対前年度比84.9%、102百万円の減少)の収入超過となった。

特別収支に関し、高校の同窓会館建設に関連して「施設設備寄付金」及び「施設設備補助金」の収入があり(3百万円)、大学の科学研究費補助金を財源として購入した機器等を中心とした「現物寄付」の14百万円等を合わせた「特別収入計」は、17百万円(対前年度比56.8%、13百万円の減少)となった。減少幅が大きいのは、前年度に高校の同窓会より大きな額の建設資金の寄付を受けていたからである。「特別収支差額」は、14百万円(対前年度比51.8%、13百万円の減少)の収入超過となった。

「経常収支差額」と「特別収支差額」を合算した「基本金組入前当年度収支差額」は、587百万円(対前年度比83.5%、115百万円の減少)の収入超過となった。貸借対照表の概要のとおり、169百万円の基本金を組入れ、「当年度収支差額」は、418百万円(対前年度比81.3%、95百万円の減少)の収入超過となった。

「前年度繰越収支差額」の3,674百万円に「当年度収支差額」を加えた「翌年度繰越収支差額」は、4,092百万円となった。

また、資金収支計算書における「翌年度繰越支払資金」は、「前年度繰越支払資金」から633百万円増加し、9,865百万円となった。

比率でみると、「事業活動収支差額比率(基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入)」は、14.63%(前年度17.48%、全国平均4.6%)で自己資金を充実させ、財務健全化が図られている。「学生生徒等納付金比率(学生生徒等納付金/経常収入)」は、81.22%(前年度82.11%、全国平均74.8%)と平均よりも比率が高く、畿央大学単体では85.24%となっている。学生生徒等納付金は、補助金や寄付金と比較して、外部要因に影響を受けにくい財源であり、比率が高いことで収入の安定性につながっているが、適切な外部資金の収入拡大も重要な継続検討事項である。「人件費比率(人件費/経常収入)」は、49.57%(前年度47.87%、全国平均53.0%)で適正な水準を維持できている。

## (2) 経年比較

### ① 貸借対照表

(単位：千円)

	平成27 (2015) 年度末	平成28 (2016) 年度末	平成29 (2017) 年度末	平成30 (2018) 年度末	令和元 (2019) 年度末
固定資産	14,594,967	14,184,674	13,995,861	13,799,019	13,635,377
流動資産	7,126,725	7,951,765	8,958,615	9,919,433	10,798,977
資産の部合計	21,721,693	22,136,439	22,954,476	23,718,453	24,434,355
固定負債	301,821	320,727	337,586	390,816	386,330
流動負債	1,055,235	957,396	1,034,855	1,042,028	1,174,435
負債の部合計	1,357,057	1,278,123	1,372,442	1,432,844	1,560,766
基本金	18,198,199	18,394,000	18,422,391	18,611,552	18,780,972
繰越収支差額	2,166,436	2,464,314	3,159,642	3,674,056	4,092,616
純資産の部合計	20,364,636	20,858,315	21,582,034	22,285,608	22,873,588
負債及び純資産の部合計	21,721,693	22,136,439	22,954,476	23,718,453	24,434,355

② 収支計算書

ア) 資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	平成27 (2015) 年度	平成28 (2016) 年度	平成29 (2017) 年度	平成30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度
学生生徒等納付金収入	2,923,834	3,060,733	3,239,514	3,279,741	3,250,855
手数料収入	220,081	207,106	210,150	203,650	188,665
寄付金収入	31,950	29,894	130,504	52,293	35,080
補助金収入	498,103	411,384	442,069	375,826	373,759
資産売却収入	985,097	439,349	21	100,052	1
付随事業・収益事業収入	36,594	33,339	25,924	22,664	35,639
受取利息・配当金収入	50,572	32,688	24,797	26,655	25,883
雑収入	112,419	56,235	72,549	52,250	96,101
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	767,999	779,734	768,061	785,653	799,698
その他の収入	176,960	144,960	57,241	53,322	30,964
資金収入調整勘定	-894,112	-811,836	-832,392	-799,963	-866,017
前年度繰越支払資金	4,914,839	6,503,209	7,656,795	8,354,195	9,232,114
収入の部合計	9,824,339	10,886,799	11,795,238	12,506,343	13,202,746

支出の部	平成27 (2015) 年度	平成28 (2016) 年度	平成29 (2017) 年度	平成30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度
人件費支出	1,976,362	1,878,178	1,930,579	1,886,427	1,979,309
教育研究経費支出	634,203	651,089	684,564	673,164	698,580
管理経費支出	298,041	279,181	257,912	263,243	281,373
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	39,639	8,181	10,980	65,704	155,299
設備関係支出	95,286	88,347	131,481	175,165	120,458
資産運用支出	309,724	217,824	502,016	226,622	212,787
その他の支出	161,208	235,007	125,067	205,359	194,651
資金支出調整勘定	-193,337	-127,805	-201,559	-221,457	-304,853
翌年度繰越支払資金	6,503,209	7,656,795	8,354,195	9,232,114	9,865,140
支出の部合計	9,824,339	10,886,799	11,795,238	12,506,343	13,202,746

イ) 活動区分資金収支計算書

(単位：千円)

科目	平成27 (2015) 年度	平成28 (2016) 年度	平成29 (2017) 年度	平成30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	3,815,027	3,798,164	4,008,863	3,967,605	3,976,831
教育活動資金支出計	2,908,608	2,808,449	2,873,056	2,822,835	2,959,263
差引	906,419	989,715	1,135,807	1,144,769	1,017,567
調整勘定等	-4,158	45,800	-1,235	63,810	41,711
教育活動資金収支差額	902,260	1,035,515	1,134,571	1,208,580	1,059,279
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	7,278	530	111,871	18,873	3,253
施設整備等活動資金支出計	134,925	96,528	142,462	240,869	275,757
差引	-127,647	-95,997	-30,590	-221,995	-272,504
調整勘定等	79,544	-5,307	53,220	-5,403	35,340
施設整備活動等資金収支差額	-48,103	-101,304	22,629	-227,399	-237,164
小計(教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額)	854,157	934,211	1,157,200	981,181	822,114
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	1,045,892	474,431	39,184	127,855	25,958
その他の活動資金支出計	311,285	253,165	502,016	230,527	214,998
差引	734,606	221,265	-462,832	-102,671	-189,039
調整勘定等	-394	-1,890	3,031	-591	-48
その他の活動資金収支差額	734,212	219,375	-459,801	-103,262	-189,088
支払資金の増減額(小計＋その他の活動資金収支差額)	1,588,369	1,153,586	697,399	877,918	633,026
前年度繰越支払資金	4,914,839	6,503,209	7,656,795	8,354,195	9,232,114
翌年度繰越支払資金	6,503,209	7,656,795	8,354,195	9,232,114	9,865,140

ウ) 事業活動収支計算書

(単位：千円)

		平成27 (2015) 年度	平成28 (2016) 年度	平成29 (2017) 年度	平成30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	2,923,834	3,060,733	3,239,514	3,279,741	3,250,855
	手数料	220,081	207,106	210,150	203,650	188,665
	寄付金	31,950	29,894	30,504	33,472	33,360
	経常費等補助金	490,912	410,856	430,219	375,826	372,227
	付随事業収入	36,094	33,339	25,924	22,664	35,639
	雑収入	118,036	56,235	72,549	52,250	96,137
	教育活動収入計	3,820,909	3,798,164	4,008,863	3,967,605	3,976,886
	事業活動支出の部					
	人件費	2,018,325	1,897,103	1,946,216	1,911,948	1,984,262
	教育研究経費	1,206,122	1,202,064	1,203,657	1,120,820	1,138,507
	管理経費	320,077	302,589	280,444	285,301	303,989
	徴収不能額等	2,000	0	715	0	2,215
	教育活動支出計	3,546,525	3,401,757	3,431,034	3,318,069	3,428,974
	教育活動収支差額	274,384	396,407	577,829	649,535	547,912
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	50,572	32,688	24,797	26,655	25,883
	その他の教育活動外収入	500	0	0	0	0
	教育活動外収入計	51,072	32,688	24,797	26,655	25,883
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	0	0	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	704	0	0	0
教育活動外支出計	0	704	0	0	0	
教育活動外収支差額	51,072	31,984	24,797	26,655	25,883	
経常収支差額	325,457	428,391	602,626	676,191	573,795	
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	60,516	50,490	0	49	0
	その他の特別収入	27,728	17,311	125,843	30,582	17,384
	特別収入計	88,244	67,802	125,843	30,632	17,384
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	8,737	2,514	4,751	3,249	1,967
	その他の特別支出	0	0	0	0	1,232
特別支出計	8,737	2,514	4,751	3,249	3,199	
特別収支差額	79,507	65,287	121,091	27,382	14,184	
基本金組入前当年度収支差額	404,964	493,679	723,718	703,574	587,980	
基本金組入額合計	-146,973	-199,801	-28,391	-189,160	-169,420	
当年度収支差額	257,991	293,878	695,327	514,414	418,560	
前年度繰越収支差額	1,873,428	2,166,436	2,464,314	3,159,642	3,674,056	
基本金取崩額	35,017	4,000	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	2,166,436	2,464,314	3,159,642	3,674,056	4,092,616	
(参考)事業活動収入計	3,960,227	3,898,656	4,159,504	4,024,893	4,020,154	
(参考)事業活動支出計	3,555,262	3,404,976	3,435,785	3,321,318	3,432,174	

(3) 主な財務比率比較

比率名	算式	平成27 (2015) 年度	平成28 (2016) 年度	平成29 (2017) 年度	平成30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入計}}$	10.23%	12.66%	17.40%	17.48%	14.63%
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入計}-\text{基本金組入額}}$	93.23%	92.05%	83.17%	86.59%	89.13%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}*1}$	75.51%	79.90%	80.31%	82.11%	81.22%
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	52.13%	49.52%	48.25%	47.87%	49.57%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	31.15%	31.38%	29.84%	28.06%	28.44%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	8.27%	7.90%	6.95%	7.14%	7.59%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	675.37%	830.56%	865.69%	951.94%	919.45%
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	6.66%	6.13%	6.36%	6.43%	6.82%
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債}+\text{純資産}}$	93.75%	94.23%	94.02%	93.96%	93.61%
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.54%	99.65%	99.67%	99.62%	99.40%
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	23.65%	27.26%	28.30%	30.46%	26.64%

\*1 経常収入 = 教育活動収入計 + 教育活動外収入計

(4) その他

① 有価証券の状況

(単位：千円)

区分	銘柄(商品名等省略)	数量	帳簿価額	時価	表示科目
株式	国内株式 a	30,000株	13,500	12,090	有価証券
株式	国内株式 b	20,000株	20,150	51,510	有価証券
外国債券	外国債券 a		32,435	104,280	有価証券
投資信託	外貨MMF a		88,636	120,947	有価証券
投資信託	指定金銭信託 a		100,000	100,000	有価証券
投資信託	指定金銭信託 b		100,000	100,000	有価証券
社債	社債 a		100,000	99,830	有価証券
社債	社債 b		99,973	99,850	有価証券
社債	社債 c		100,000	99,086	有価証券
社債	社債 d		100,000	100,230	有価証券
社債	社債 e		100,000	98,856	有価証券
計			854,695	986,680	

② 借入金の状況

借入先	借入残高	利率	返済期限	担保等
該当なし				



③ 学校債の状況

発行年度	本年度末残高	利率	償還期限	適用
該当なし				

④ 寄付金の状況

(単位：円)

区分	寄付者	寄付金額
一般寄付金	畿央大学後援会	15,400,000
一般寄付金	企業(1件)、個人(4件)	682,000
特別寄付金	畿央大学後援会	2,000,000
特別寄付金	奨学寄付金(企業2件)	1,098,000
特別寄付金	研究助成寄付金(団体2件)	2,650,000
特別寄付金	受配者指定寄付金(企業2件)	530,000
特別寄付金	教育振興基金 畿央大学後援会	9,000,000
特別寄付金	教育振興基金 企業(1件)、個人(106件)	2,000,000
施設設備寄付金	関西中央高等学校同窓会	920,000
施設設備寄付金	関西中央高等学校育友会	800,000
現物寄付金	企業(1件)、団体(14件)、個人(45件) (PC、機器、図書等)	14,112,472
計		49,192,472

⑤ 補助金の状況(主な補助金)

(単位：円)

補助金名称	交付団体	部門	金額
私立大学等経常費補助金	日本私立学校振興・ 共済事業団	大 学	216,200,092
私立学校教育経常費補助金	奈 良 県	高 校	120,687,000
私立大学等研究設備整備補助金(高校ICT)	奈 良 県	高 校	1,532,000
私立学校教育経常費補助金	奈 良 県	幼稚園	21,229,000
幼稚園型一時預かり事業補助金	桜 井 市	幼稚園	1,813,000
計			361,461,092

⑥ 収益事業の状況

収益事業は行っていない。

⑦ 関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

属 性	役員、法人等 の名称	住所 資本金又は出資金 事業内容又は職業 議決権の所有割合 関係内容	取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
理事長	冬木 正彦	—	無償の土地 使用	0	—	—

イ)出資会社

名称	OpenCEAS 株式会社			
事業内容	通信型eラーニングシステムの運用と支援 等			
出資金	3,000,000円(300株)			
学校法人の出資状況	3,000,000円(300株)総出資金額に占める割合100%			
出資の状況	平成31年1月4日 3,000,000円(300株)			
当期中に学校法人が受け入れた 配当及び寄附の金額並びに学校 法人との資金、取引等の状況	当該会社からの受入額		雑収入	580,600
			立替金	54,864
	当該会社への支払額		報酬委託手数料等	12,070,300
(単位:円)				
(単位:円)				
	期首残高	資金支出等	資金収入等	期末残高
当該会社への出資金等	3,000,000	0	0	3,000,000
当該会社への立替金	54,864	0	54,864	0
当該会社からの未収入金	56,000	583,200	580,600	48,600
保証債務	当該会社への債務保証はない。			

⑧ 学校法人間取引

学校法人名	住所	取引の内容	適用
該当なし			